

NEW



ホルベイン工業株式会社
東京都豊島区東池袋2-18-4
TEL.03(3983)9251
大阪府東大阪市上小阪1-3-20
TEL.06(6723)1554
www.holbein-works.co.jp

ホルベインの「デュオ」、それは油絵具でありながら水に溶ける。つまりペトロールやターベンタインなどの溶き油ではなく水で希釈できるのだ。乾燥後は本来の油絵具で描いたような画肌に仕上がる。本格志向の画家たちが、アクリラやテンペラなどと併用して、絵画の技法を大きく拡げるのを可能にしたわけだ。また、溶剤に対するアレルギー問題も一掃した。換気に気を使うことなく創作に打ち込める、より安全な油絵具として人気を博してきた。そしてなによりも、今回のリニューアルで、新たに顔料から見直した、全100色。プロユースと呼びたい「デュオ」、それは水を得た油絵具、とでもいえるのではないだろうか。

水で描ける——次世代油絵具
アクアオイルカラー「デュオ」



水と油は反発しあう、という誤解。

綿引展子

様々な顔たちの、「個」の在り処

倉林靖=文

Text by Yasushi Kurabayashi

1980

「人間って、なんていいものなんだろと思った。
ならば私も、いいのかも」



生まれ育ったのは麹町。皇居の千鳥ヶ淵は今ほど桜の名所として賑わうこともなく、子どもだった綿引の遊び場のひとつだった。これはそこでの、1980年頃、20代前半の綿引のポートレート



無題 1982 木版 サイズ不明 銀座の真和画廊で開いた個展に出品

綿引展子は、今秋から1年間、文化庁の在外研修派遣員としてドイツのハンブルクに滞在することになった。渡欧の直前に、都内の数か所のギャラリーで個展を行つた。小さな本の形をした作品集も出版した。ある種、ここにきていつぱんに開花した、という印象を受ける。いろんな偶然が重なつただけ、と本人は特に意識もしていない感じなのだけれど。

個展会場を訪れるとき、大きな顔が画面上を色面として覆つている作品が多い。大胆な構成で、真正面から観る者をとらえてくる。しかし何か、向こう側に容易に掴みきれない作者の自我があり、外界をじっと窺つている感じがして、複雑な印象を与えられる。そこが、一度気になつたら目を離すことのできない不思議な魅力につながっている。

これは綿引本人にも重なつてくるイメージだ。オープンで開けっぴろげな性格らしく見えるけれど



1992年、スカイア・アートプレイス青山での個展「目じるし」から
右—おともなく声もなく一本の植物と化して 231.3×137.4×23.9cm
中—手のなかでクレヨンが約束とともに溶けて 230.8×137.5×20.7cm
左—うしろ姿になりそねたひだりの横顔 231×137.5×23.8cm
すべて制作年は1992、素材は木、油彩、鉛筆、オイルパステル 撮影=桜井ただひさ

1992 「自分でなんだろう。そう思い、親の視線としての 子ども時代の写真を手がかりに、自分を取り戻そう」

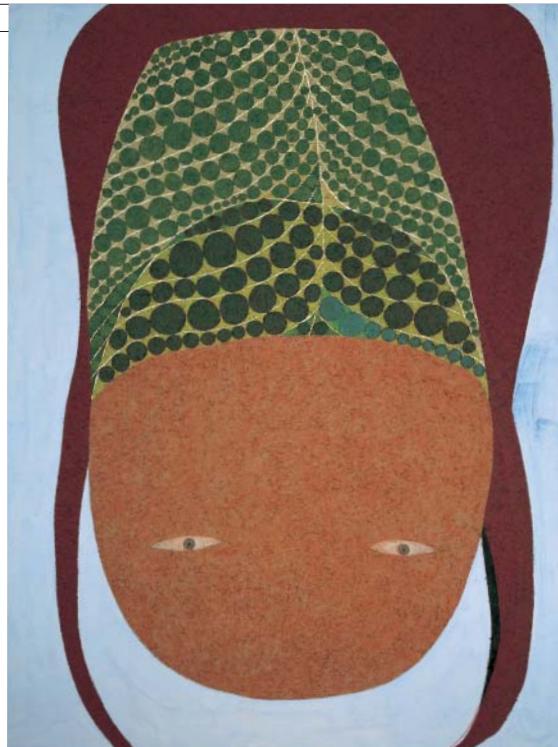
も、言葉やしぐさの端々に、この
ひとの過ごしてきた糺余曲折の生
活と感情とが凝集されているのを
感じる。インタビューに訪ねたア
トリエもそうだ。真鶴の、海から
急な坂を上った山の中腹の段々状
の住宅地。前の住人は、版画をやつ
ていた学校の先生だそうで、開口
の広いオーブンで個性のある家に
9年前から綿引は仕事場を移して
いる。ここから見る夕陽は格別だ
が、彼女の画家としての生活の
様々な要素が、家の中には染み付
いていた。作品の背後には、これ
までいったいどんな
時間があったのだろ
う？

子どもの頃から絵
を描くのが好きで、
ひとりでいるのが好
きだった。「夢見が
ちな子」だったんで
す。小学校の卒業文
集に『絵本作家にな
りたい』と書いた。



私の位置からの最もすぐれた姿勢 1985
写真、コピー紙に水彩、木 20×20×5cm
撮影=安典明

「ぐりとぐら」とか「いやいやえん」とか、流行のディズニーとかが好きでした。中学校のとき、竹橋の東京国立近代美術館であった版画集『ブルーギター』が気に入つて、高校卒業後は武蔵野美術学園版画科という、版画工房のような専門学校に通いはじめる。版画学校ではほんとうに『刷れ』なかつたんです。作業時間が長くて、色版がどうしてもズレてしまう。版



2008

「個として生きることを、
『女性の自立』に限定しません。
作品には言葉だけじゃない、
抽象的な広がりがほしい」

考えるだけでいいだろう-5
2008 和紙にオイルパステル
130×97cm

画じやあ自分のやりたいことに辿り着かない。先生からは、「版画じゃなくてもいいんじゃないか」と言われました。その頃から、自分でやりやすい工作系の作品に惹かれていたんです」。

卒業後、広告代理店に就職するが、親が病気になり看病のため離職。画廊でのアルバイトを経て、福祉の仕事をやろうと思い職業安定所を訪れるも、その職員に猛烈なイヤミを言われたことで一念発起、点字の勉強をし、障がい者センターで働きはじめる。そこで様々な障がい者と出会ったことが、彼女の考え方を根本的に変えたようだ。「障がい者が喧嘩してると、ほんとに生々しいのね。一所懸命だから喧嘩する。生まれて初めて『人間を見た!』と思いました。人間ってこんなにいいもんなんだ」と。そして『私でも、いいのかも』と思つた。

生まれた年に両親が大きな借金を抱えて突然貧困になつた。家の

中での自分の立場に自信が持てないでいたところに、福祉の仕事の経験が自信を与えてくれた。82年の最初の個展で木版画を出品した後、2度目の個展では、箱に自分の少女時代の写真を入れた作品を出品する。「子どもの頃の記憶を追体験して、自分の心の中にある穴を埋めよう」という思いでした」。この箱の作品は、好きな人は好き、嫌いな人は嫌い、と見る人の好き嫌いがはつきり分かれたといふ。

箱のシリーズが84年頃から94年頃まで10年ほど続いたあと、作品は完全な絵画に移行する。箱の中のイメージは写真から写真のように描いた絵画へとだんだん移つていった。それにつれて、描く対象は「自分」ではなくなっていく。「長く作品を見てくれている人が、モチーフが『自分』だけではないで見てているほうも楽になる、と言つてくれたんです。大人になつてきました、ということか



伊豆半島の付け根にある小さな漁村に、9年前に仕事場を移した。菜園をつくっていることなのだろう。箱の中に描いているときからオイルペイントを使う。パステルとキャンバスの相性を疑問視されたので、使ったのは一度だけ、95年頃からは紙を。それも和紙を使うようになった。

作品は毛羽立ちが増して独自のマチエール感を持つようになる。また作品は色面の大膽な構成で「顔」を描いたものが多くなる。

ある時期から、タイトルには、わかりやすいように最初の作品メモから採った言葉がつけられ、作品に関する作家の思考の一片が示されている。縋引の作品は、時代性を反映して近年、「私」という「アイデンティティ」、あるいは「セクシーシュアリティ」といった文脈で展覧会に組み込まれることも多くなつた。こういった紹介は確かに、おおいに作品理解の助けになるだろうけれども、とくに「女性性」という点に関しては、

な?」。絵画になつて、ものの見方も、より客観的になつた、ということなのだろう。箱の中に描いているときからオイルペイントを使う。パステルとキャンバスの相性を疑問視されたので、使ったのは一度だけ、95年頃からは紙を。それも和紙を使うようになった。

作品は毛羽立ちが増して独自のマチエール感を持つようになる。また作品は色面の大膽な構成で「顔」を描いたものが多くなる。

ある時期から、タイトルには、わかりやすいように最初の作品メモから採った言葉がつけられ、作品に関する作家の思考の一片が示されている。縋引の作品は、時代性を反映して近年、「私」という「アイデンティティ」、あるいは「セクシーシュアリティ」といった文脈で展覧会に組み込まれることも多くなつた。こういった紹介は確かに、おおいに作品理解の助けになるだろうけれども、とくに「女性性」という点に関しては、

本人は特別それを意識していないようにもみえるし、作家の唯一的な営みを、既成の文脈に当てはめることは、慎重でありたい。彼女の作品には、それよりもっと、一個の人間が「在る」ことの様々な局面が刻み込まれているよう気がするのだ。1年後、ドイツから帰った彼女の作品には、どれだけ豊富な「生の局面」が付け加わっているだろうか。

●くらばやし・やすし [美術評論家]
9月7日 神奈川・真鶴の作家アトリエにて取材

わたびき・のぶこ

1958年東京生まれ。80年代から制作を開始し97、98年とVOCA展(上野の森美術館、東京)に選ばれる。個展に'82年真と画廊(東京)、藍画廊(東京、'83、'84、'02年も)、'96年東京画廊(東京)ほか、グループ展に'87年金山ビエンナーレ(韓国)、'94年「現代の人間像—くわたり」という存在を証明」展(北海道立近代美術館)、'97年「私 美術のすすめ—何故watakushiは描かれるか」(板橋区立美術館、東京)、'99年「メディテーション 真昼の瞑想」(栃木県立美術館)、'03年「愛と孤独、そして笑い」(東京都現代美術館)ほか。今年9月、銀座のギャラリー白石とMEGUMI OGITA GALLERYで同時に、また自由が丘にオープンした意識フィールドで個展開催。エッセイ画集『手のなかのこころ』を刊行(晶文社)。10月から文化庁在外研修派遣員としてドイツ、ハンブルクに暮らしはじめた。帰国後、ギャラリー白石で個展を開く予定。